



見頃の薬用植物

■コガネバナ

Scutellaria baicalensis

生薬名：黄芩（おうごん）
薬用部位：根
薬効：消炎、解熱、利尿



花は、唇形花といわれる口を開けた時の唇を思わせる形をしている。

植物名からは黄色い花を想像するが紫色で、根が黄色いことから名付けられた。生薬には、黄連、黄柏、大黄、麻黄、黄精、雌黄、黄耆など「黄」と付くものが多い。

漢方処方中に繁用される生薬のひとつ。



■ムクゲ（槿）

Hibiscus syriacus

生薬名：木槿花（もつきんか）、木槿皮、木槿子
薬用部位：蕾、樹皮、果実
薬効：抗菌、解熱、解毒、止瀉



「槿花一朝（きんかいつちょう）の夢」という言葉があるように、早朝開花した花は夕方にはしぼんでしまうため、栄華の儚さに例えられるが、花は次々と咲き、花期も夏～秋と長い。韓国の国花であり、散っても次々と花を咲かせる生命力の強さは国家繁栄を表すとされ、“無窮花”と呼ばれる。淡紅色や淡紫色など多くの品種があり、庭木や鉢植えとして親しまれ、薬用としては主に白花が用いられる。